

働きやすく災害に強い 農山村づくりプロジェクト



現状・課題

- 農業後継者の減少や高齢化、耕作放棄地の増加に対して、農業を将来にわたり継続していくためには、規模拡大できる環境を整えるとともに、営農の省力化が可能な農地に整備し、担い手をはじめ、多様な農業者が農業経営を継続できるようにする必要がある。
- 県が造成した基幹的農業水利施設の多くは、昭和40年代までに集中的に整備されており、その機能を維持し農業用水の安定供給を図る上で、老朽化対策は大きな課題となっている。
- 近年頻発する豪雨災害や近い将来発生が想定される東南海・南海地震等による被害が危惧される中、将来の自然災害に備えて農業用ため池の整備を計画的に行っていく必要がある。

取組

● 働きやすい農地づくり

- ・県営中山間総合整備事業
区画整理による農地の整形や拡大及び農道、水路の整備を総合的に実施
- ・県営畑地帯総合整備事業
畑地かんがい施設などの用排水施設や農道の整備、区画整理を総合的に実施
- ・県営農業基盤整備促進事業
地域の実情に応じた迅速かつきめ細かな農地・農業水利施設等の整備を実施

● 農業用水の安定供給

- ・県営基幹水利施設ストックマネジメント事業
老朽化した基幹水利施設の補修・更新
- ・県営水利施設等保全高度化事業
施設のパイプライン化・自動化・電動化等による水利用の効率化や、水管理の合理化・省力化整備を実施

● 農村地域の防災減災

- ・県営ため池等整備事業
農業用ため池の改修、農地・農業用施設等の湛水被害を防止・軽減するための排水施設整備

寄附金の使途

事業実施に係る工事請負費、測量試験費 等

